

壁に残された伝言  
漢字を身につけよう3学習の  
ねらい

- ① 事実を整理して正確に捉える。
- ② 筆者の見方や考え方を丁寧にたどり、主張を捉える。

## 確認

## 文章の流れをつかもう

「壁に残された伝言」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。

□にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

東京から広島に赴任した「私」は、「あの日」をたどる取材を始めた。

半世紀以上も前の八月六日、原爆の日

校舎の壁が剥がれ、「被爆の伝言」が見つかった。

壁の下の文字は、どのように保存されたのか？

チョークの白が黒に逆転して現れたのは、こういった事情だろうか？

①の伝言が保存されたメカニズムの説明。

建物の一部保存と、伝言を見つけるための調査が行われた。

被爆体験⇨風化

二十世紀の終わりだったからこそ、注目された。

②「□」から、「③」のことが人々に伝わっていく。

私…何が書いてあるのかわからない。涙が出た。

← 取材

家族などの関係者…いとも簡単に、かすれた文字を読んだ。

ア 被爆の伝言    イ チョーク    ウ あの日

## 確認

## 要旨をつかもう

次のあらましを読んで、作品の要旨としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

八月六日の原爆の日に放送する特別番組を作るため取材をしていた「私」は、「被爆の伝言」に出会った。「被爆の伝言」は、原爆が投下された直後に、広島市の小学校の壁に白いチョークで書かれた伝言だが、一九九九年の春に発見された時には文字は黒くなっていった。白いチョークで書かれ、その伝言が放置されたことで、五十数年間チョークが壁の煤を保護し、白黒逆転した文字となって現れたのだ。「被爆の伝言」は「あの日」を力強く語る遺産であり、証人だといえる。

ア 「被爆の伝言」は、八月六日の原爆の日に発見され、人々を驚かせた。

イ 一九九九年、白いチョークで書かれたままの「被爆の伝言」が発見された。

ウ 「被爆の伝言」は、私たちに「あの日」のことを語ってくれる遺産であり、証人である。

## 参考資料

## 【著者紹介】

井上恭介…一九六四年、北海道生まれの放送ディレクター。著書には、「マネー資

本主義」「里海資本論」などがある。広島局で中国地方向けに放映した番組をまとめた「里山資本主義」は40万部をこえるベストセラーになった。

## 漢字の読み書き

次の——線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- |                    |                                     |              |
|--------------------|-------------------------------------|--------------|
| □ (1) 天国と地獄        | □ (2) 被爆の体験                         | □ (3) 剥がれ落ちる |
| □ (4) ビルの建て替え      | □ (5) 寮内を歩く                         | □ (6) 痕跡が残る  |
| □ (7) 意見が一致する      | □ (8) 炎が上がる                         | □ (9) 焼き払われる |
| □ (10) 雨露をしのぐ      | □ (11) 廊下は走らない                      | □ (12) 硫酸化合物 |
| □ (13) 切手を貼る       | □ (14) 欠席の連絡                        | □ (15) ノートの端 |
| □ (16) 都会のザットウに紛れる | □ (17) 景色を思いウかべる                    |              |
| □ (18) クロコげのなべ     | □ (19) カベに絵を描く                      |              |
| □ (20) ドラマのサツエイ    | □ (21) キセキテキに助かる                    |              |
| □ (22) 現在のジヨウキヨウ   | □ (23) イツシユンにして逆転する                 |              |
| □ (24) 建物がハカイされる   | □ (25) 深い霧 <small>きり</small> にオオわれる |              |
| □ (26) 半数をシめる      | □ (27) 入賞をジマンする                     |              |
| □ (28) リンジ列車に乗る    | □ (29) 間違いをシテキする                    |              |
| □ (30) 人数がサラに増える   |                                     |              |

## 重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。また、その言葉を使った例文を書きなさい。

④		③		②		①	
風化		ことごとく		鑑 <small>かんが</small> みる		赴 <small>ふにん</small> 任	
例文	意味	例文	意味	例文	意味	例文	意味
戦争の記憶 <small>きおく</small> を風化させてはならない。			あるもの全て。	前例に鑑みて判断する。		大使として外国へ赴任する。	

### 問題

次の各文の空欄にあてはまる言葉を「重要な語句」の中から選び、書きなさい。ただし、空欄にあてはまるように言葉を変化させても構いません。

- (1) 昨年の売りに上げに□で商品を仕入れる。
- (2) 今日取り組んだ実験は、□失敗した。
- (3) 被害を語り継ぎ、□させないようにする。
- (4) 父は、来月北海道へ□することが決まった。

## 壁に残された伝言 (1)

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1) — 線①「伝言が保存されることになった第一の『条件』とは、どんなことですか。次の文の「a」「b」「c」にあてはまる言葉を、文章の中からさがし、

aは二字、bは一字、cは四字で書きぬきなさい。

「a」の少ない、真つ黒な「b」のついたコンクリートの壁面に、白い「c」で書かれたこと。

a

b

c

□(2) にあてはまる言葉として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ やはり  
ウ 更に エ だから

□(3) — 線②「しばらく置いておくと消せなくなる」とありますが、なぜですか。文章中の言葉を使って答えなさい。

□(4) — 線③「壁が塗り直された時期」について、筆者はいつ頃であると推測していますか。文章中からさがし、十一字で書きぬきなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（井上恭介「壁に残された伝言」より）



## 読解のコツ

◎事実を整理して正確に捉える

「被爆の伝言」が、発見された経緯をおさえましょう。

↓学習のねらい①

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

奇跡のような偶然が重なって、「被爆の伝言」は五十数年の間保存され、「白黒逆転」した文字として現れたのです。このように、順を追って出来事を整理しながら読み進めると事実を正確に捉えることができます。

□(5) — 線④「チョークの伝言がある期間放置されたこと」とありますが、その期間にどのようなことがあって、伝言が保存されることになったのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 伝言の書かれた黒板が、授業に使われなかった。

イ チョークが固まって、消えにくくなった。

ウ 人目に触れなくなり、新しい伝言が書き加えられなかった。

エ 伝言の上に、新しい壁が塗り直された。

□(6) — 線⑤「チョークは壁に残った」とありますが、その理由として適切でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 漆喰ののりがよくなるよう、いったん壁をきれいに洗い流したから。

イ 壁を洗い流しても、チョークはこびりついていたので。

ウ チョークは白いので、白くなった壁の中では目立たなかったから。

エ チョークの部分は少し盛り上がっているだけだったので、その上から塗り直されたから。

□(7) — 線⑥「白黒逆転して現れた」とありますが、なぜですか。次の文の「 」にあてはまる言葉を文章中からさがし、書きぬきなさい。

「 」にあてはまる言葉を文章中からさがし、書きぬきなさい。

チョークが、剥がれ落ちた壁にくっついて取り除かれたことにより、

から。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

□(1) — 線①「途方にくれた」とありますが、その理由を簡潔に答えなさい。

□(2)  A・Bにあてはまる言葉の組み合わせを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |   |     |   |     |
|---|---|-----|---|-----|
| ア | A | しかも | B | さらに |
| イ | A | だが  | B | しかも |
| ウ | A | さらに | B | または |
| エ | A | つまり | B | しかし |

□(3) — 線②「彼らはいとも簡単にそのかすれた文字を読み、『ああそうだったのか。』とつぶやいた」とありますが、それはなぜですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 彼らは、そのような伝言が書かれ、残されているということを以前から知っていたから。

イ 彼らは、伝言を書いた家族らの状況を当時から知っていて、よく覚えていたから。

ウ 家族など心のつながりのある人は、伝言の内容や当時の状況、伝言にこめられた思いを容易に想像できたから。

エ 家族などの関係者にとっては、伝言の文字は読みなれたものだったから。



著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(井上恭介「壁に残された伝言」より)

25

## 読解のコツ

◎筆者の見方や考え方を丁寧にたどり、主張を捉える

↓学習のねらい②

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

筆者が、「伝言」を前に涙を流す家族を見たことがきっかけとなって、「あの日」の惨状と人々の苦しみを肌で感じ取り、「被爆の伝言」は、「あの日」を語る遺産であり、証人だと考えるようになったのです。事実が書かれた部分と、事実をもとに筆者が考えた内容が書かれている部分を見分け、筆者の主張を捉えましょう。

□(4) ———線③「あの日」があふれ出た」について、次の問いに答えなさい。

I 「あの日」とは、いつのどのような日のことですか。文章中の言葉を使い、十五字以内で答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 「あの日」の何があふれ出たといえますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 疑問    イ 印象  
ウ 真実    エ 感動

□(5) ———線④「口をつぐみ、立ちつくした」とありますが、どういうことですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 罪悪感で無口になった。  
イ どう反応すべきかわからず、困った。  
ウ 圧倒され、心を打たれた。  
エ 亡くなった肉親を思い出し、悲しんだ。

□(5) ———線⑤「被爆の伝言」とは、どのようなものであるかを表現した一文を文章中からさがし、はじめの五字を書きぬきなさい。

--	--	--	--	--

# まとめテスト

## 壁に残された伝言

教科書

P. 80 ~ P. 87

得点

100点

50

1 次の文の空欄にあてはまる言葉をあとから選び、答えなさい。

2点×9 18点

□(1) 東京から赴任した私は、「①」をたどる取材を始め、その中で、一九九九年に小学校の校舎の壁が剥がれて見つかった「②」に出会った。伝言は奇跡のような偶然によって③されていた。発見された伝言が注目を浴びたのは、被爆体験の④が問題になっている二十世紀の終わりだったからだと考えられる。「被爆の伝言」から、原爆投下の日のことが人々に伝わっていく無限の⑤は、現在も続いている。

- ア 連鎖 イ 生命 ウ あの日 エ 被爆の伝言  
オ 保存 カ 風化 キ 説明

□(2) この文章は、筆者が実際に①を訪れて取材したことを報告するためにかかれたルポルタージュである。「伝言」が発見された経緯と、「伝言」の文字の②のメカニズム、「伝言」が発見された時の反響について、順を追って説明されている。

「被爆の伝言」を初めて見たとき、何が書いてあるのかわからず途方に暮れる筆者の様子が描かれる。筆者が取材を進めるうち、伝言の前で③を流す家族の姿を見て、「伝言」は原爆投下の日のことを語る④であり、証人であると感じるようになった様子が描かれている。

- ア 報道 イ 調査 ウ 広島 エ 白黒逆転  
オ 遺産 カ 涙 キ 補修

2 次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

- (1) 被害にあう □(2) シールが剥がれる □(3) 席替えをする  
□(4) 社員寮に入る □(5) 露にぬれる □(6) 硫酸を扱う  
□(7) ジゴクの特訓 □(8) 文字のコンセキ □(9) 血液型のイッチ  
□(10) 激しいホノオ □(11) 料金をハラう □(12) ロウ力を歩く

3 次の各文の空欄にあてはまる言葉をあとから選び、書きなさい。

2点×4 8点

- (1) 一人分の席が空いていた。  
□(2) 記憶のをたどる。  
□(3) 商店街のに紛れる。  
□(4) 大切にしていたので、捨てるに。

- 雑踏 忍びない 断片 風化 辛うじて

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

50点

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(井上恭介「壁に残された伝言」より)

- (1) — 線①「迫力」を感じたのは、伝言をどんなものとして見た場合ですか。  
 文章中からさがし、八字で書きぬきなさい。


7点

- (2) — 線②「驚くべきことが起こった」とありますが、「驚くべきこと」とはどういうことですか。「家族ら」という言葉を使って説明しなさい。

10点

- (3) — 線③「人の心をこんなに揺さぶるのか」とありますが、筆者は伝言の文字に何を感じ取り、心を揺さぶられたのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

8点

- ア 書家でも芸術家でもない人の文字のみごとき。  
 イ 戦争下においても美しい文字を書く人々の気高さ。  
 ウ 伝言を書いた人の当時の切実な思い。  
 エ 原爆の貴重な資料を新たに発見した喜び。

- (4) — 線④「被爆の伝言」とは、現代の私たちにとってどのようなものであると筆者は述べていますか。文章中の言葉を使って説明しなさい。

15点

- (5) — 線⑤「無限の連鎖」とありますが、筆者がこの言葉に込めた思いとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

10点

- ア 戦争は、国際社会の連携によって防ぐべきだという思い。  
 イ 戦争の事実や悲劇を風化させてはならないという思い。  
 ウ 戦争で受けた傷から少しずつ立ち直っていきたいという思い。  
 エ 原爆投下は、人々に限らない不幸をもたらしたという思い。